

DMG森精機株式会社

2023年度本決算(1-12月) 説明資料

2024年2月5日

DMG MORI

CELOS X



Join the future of manufacturing

1.2023年度(2023年1-12月)決算概要

2.2024年度業績予想

3.事業環境

4.「中期経営計画2025」初年度の成果

5. グローバル・マーケティング（オープンハウス フロンテン、Japan Tour）

2023年度 (1-12月)決算概要

DMG MORI

- ✓ 通期営業利益率 10%達成。「中期経営計画2025」初年度、好発進
- ✓ 受注平均単価、約62百万円/ 41万 EUR（前年度 約50百万円/ 36万EUR）。MX戦略がお客様に浸透
- ✓ 連結受注額：5,200億円。前年度比4.1%減に留まる。欧州受注が健闘。サービス・補修部品(構成比：22%)が16%増
：10-12月は、1,205億円（前年同期比：9.1%増）
- ✓ 2023年12月末機械受注残2,470億円（前年度末：2,540億円）、豊富な受注残を維持
- ✓ 期中で期末配当金10円増額。年間配当90円計画と連続増配（2022年度：70円）
- ✓ 倉敷機械株式会社(2024年4月1日：DMG MORI Precision Boring株式会社へ社名変更)、2024年1月5日グループ化完了
2024年度の業績に貢献

2023年度(2023年1-12月)決算ハイライト

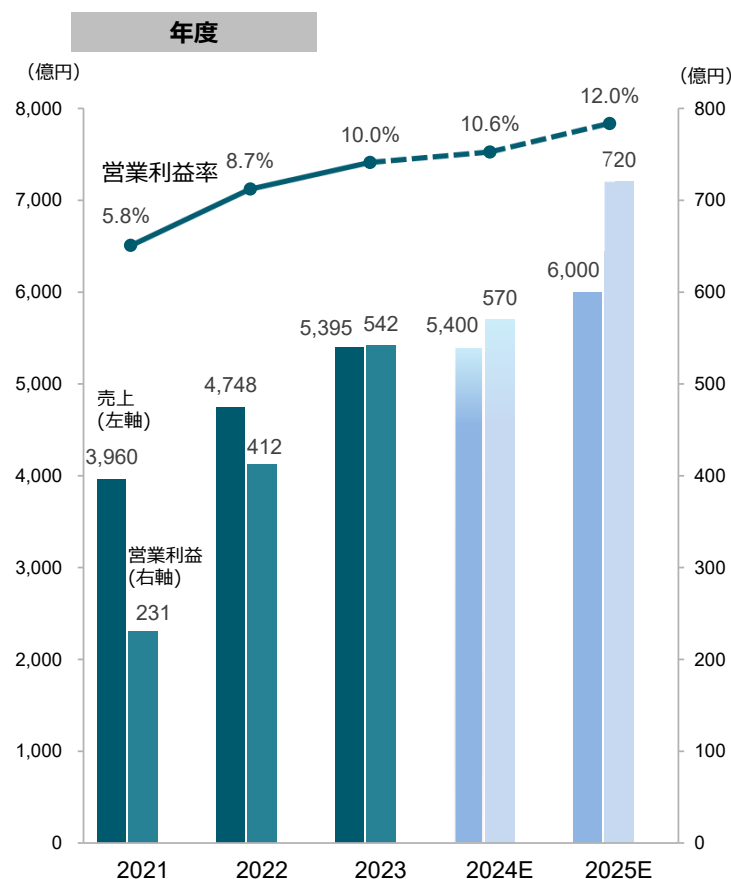
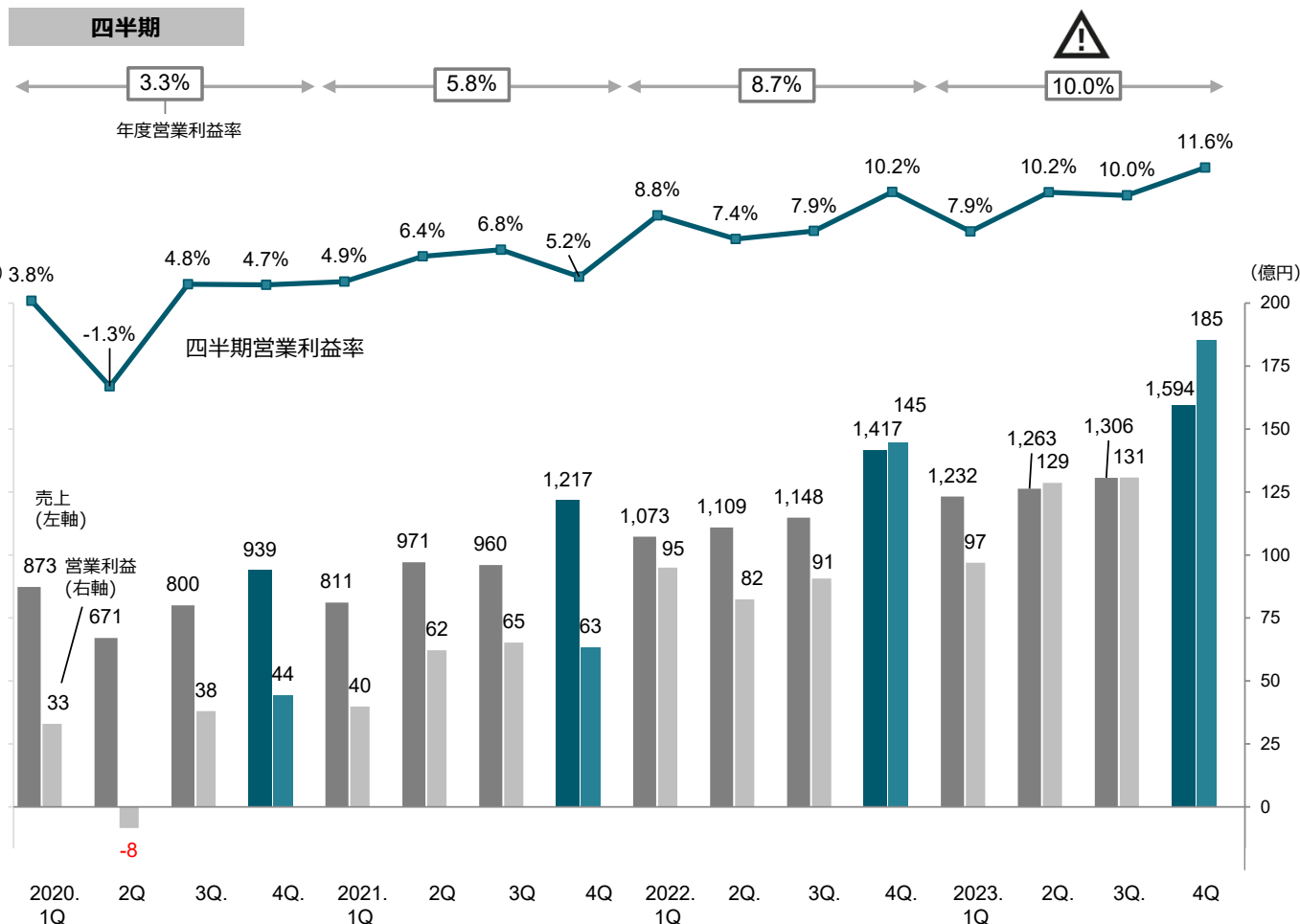
DMG MORI

(億円)	2021年		2022年		2023年		従来計画 (12/19公表)
	実績	YoY (%)	実績	YoY (%)	実績	YoY (%)	
連結受注	4,560	+63.0%	5,424	+18.9%	5,200	-4.1%	5,200
機械受注残高	1,640		2,540		2,470		2,550程度
売上収益	3,960	+20.6%	4,748	+19.9%	5,395	+13.6%	5,300
営業利益	231	2.2倍	412	+78.7%	542	+31.4%	530
営業利益率	5.8%		8.7%		10.0%		10.0%
当期利益（親会社所有者帰属）	135	7.7倍	254	+88.7%	339	+33.6%	338
当期利益率	3.4%		5.4%		6.3%		6.4%
1株当たり当期利益（円）	91.75		188.62		256.66		255.53
配当金（円/株）	40		70		90(予)		90
償却費(リース含む)	219		240		265		270
投資額	233		411		425		450
USD/JPY	109.8		131.5		140.6		
EUR/JPY	129.9		138.1		152.0		

四半期および年度業績推移

DMG MORI

- ・ 通期（1-12月）営業利益率 10%達成。第4四半期（10-12月）営業利益率は11.6%
- ・ MXの推進により、単価の上昇と値引き率の低減が継続。中期経営計画最終2025年度の営業利益率12%目標達成に向けて利益率改善



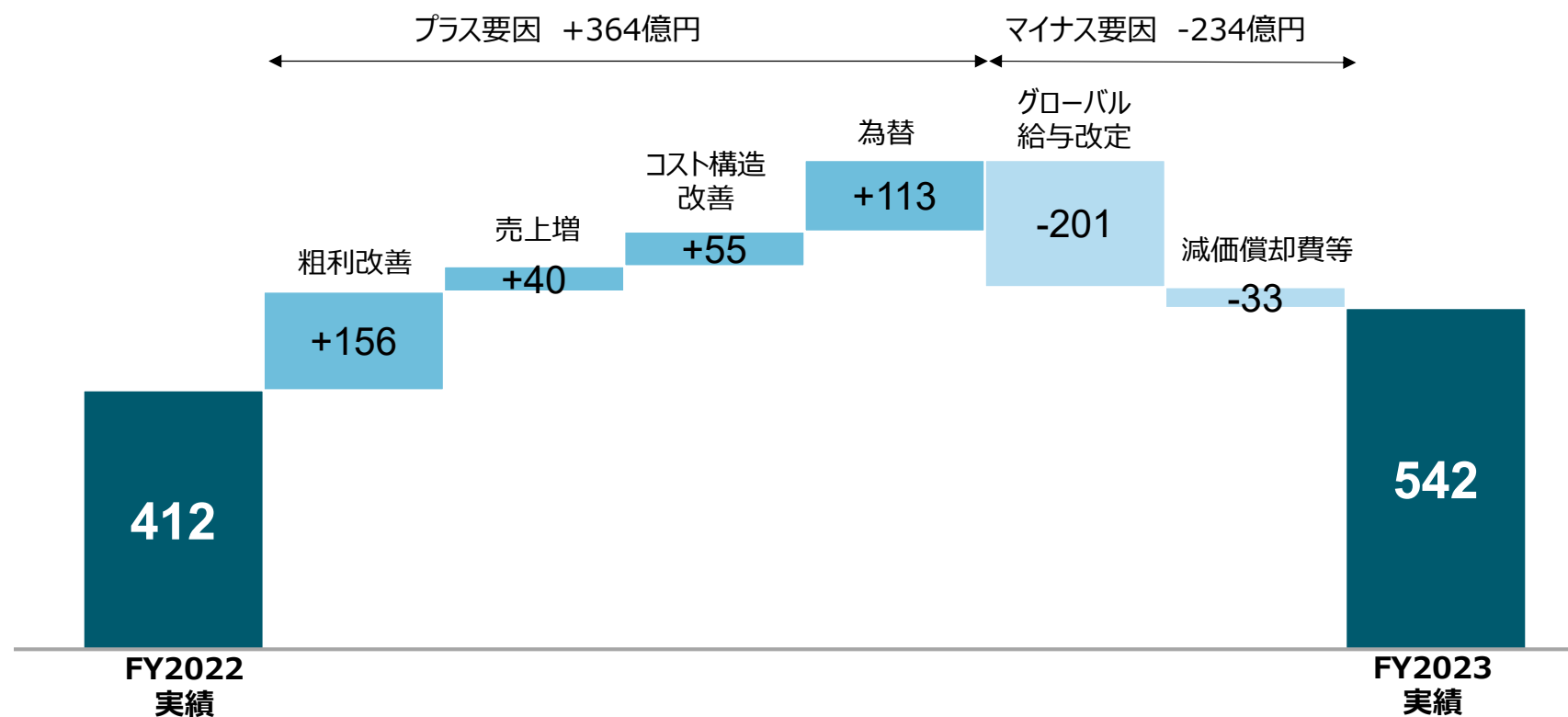
営業利益増減分析 2022年度 vs. 2023年度

DMG MORI

- ・ お客様への高付加価値提案により粗利益率改善続く。主要部品のグローバルでの内製化促進によるコスト構造改善も寄与
- ・ グローバル給与改定による人材投資の大幅増は2023年度で一巡。2024年以降、人件費はグローバルインフレと同程度の増加

(億円)	FY2022	FY2023	増減
売上収益	4,748	5,395	+647

		FY2022	FY2023
為替レート：	USD/円	131.5	140.6
	EUR/円	138.1	152.0

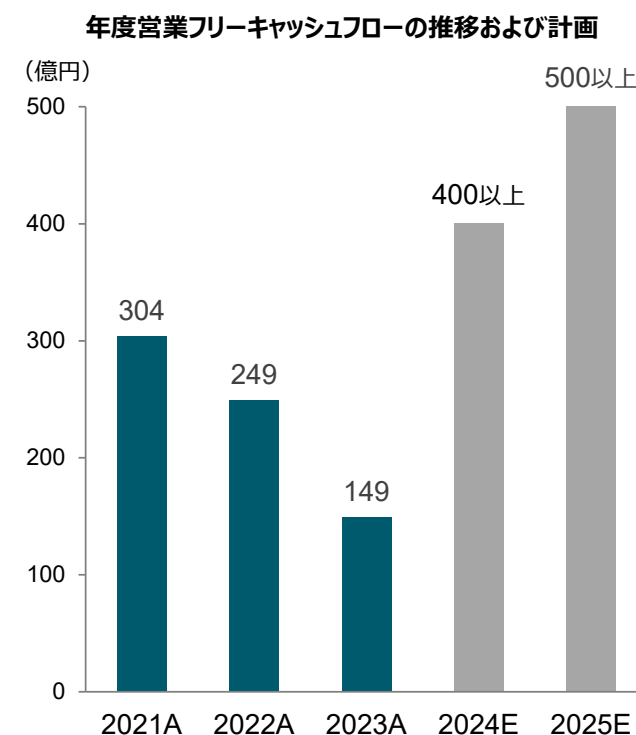


キャッシュ・フロー

DMG MORI

- ・ 第4四半期のフリーキャッシュフローは大幅な黒字化。収益率の改善に加えて、在庫も減少に転じる
- ・ 2024年のフリーキャッシュフロー 400億円以上を計画。高水準の設備投資は2023年度で一巡。在庫をさらに削減

(億円)	2022					2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
営業キャッシュフロー	125	236	101	235	697	93	51	58	315	516
税引前四半期利益	89	74	80	122	365	85	112	117	165	479
償却費	56	60	58	66	240	62	63	68	72	265
運転資本増減	-18	99	-9	51	123	-17	-102	-71	99	-91
その他	-2	4	-29	-3	-31	-37	-23	-56	-21	-137
投資キャッシュフロー	-101	-115	-118	-115	-449	-111	-101	-96	-59	-367
営業フリーキャッシュフロー	24	121	-17	121	249	-18	-50	-39	256	149

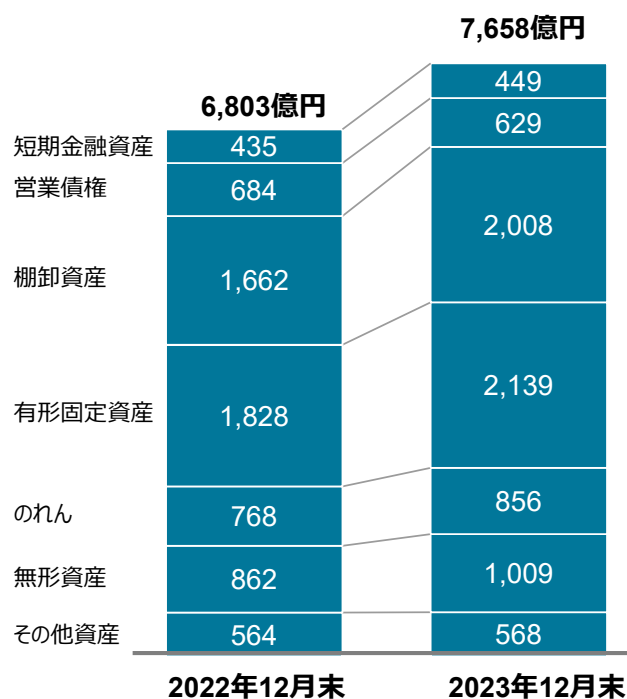


貸借対照表サマリー

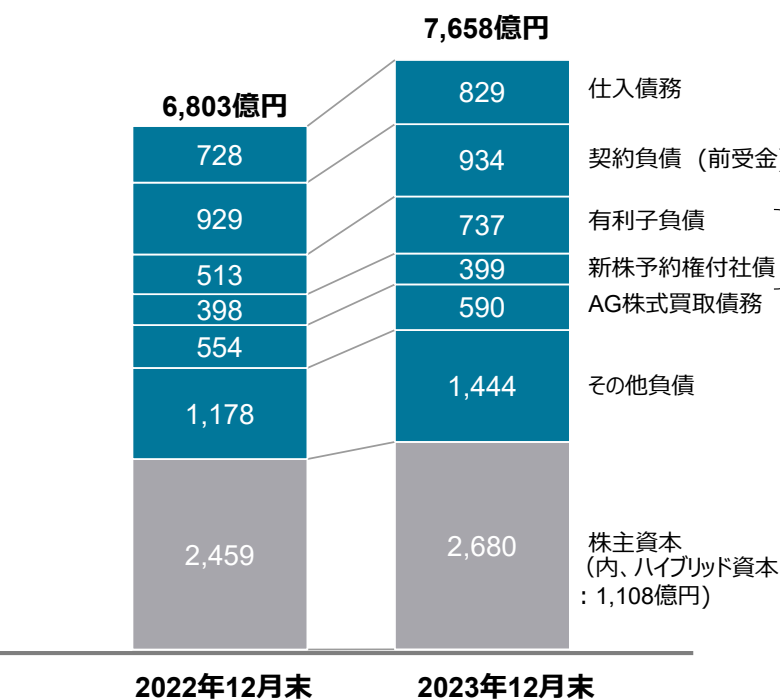
DMG MORI

- ・ 為替の影響額、約500億円
- ・ 売上増に伴い総資産増加。棚卸資産は第3四半期末（2,165億円）をピークに減少へ

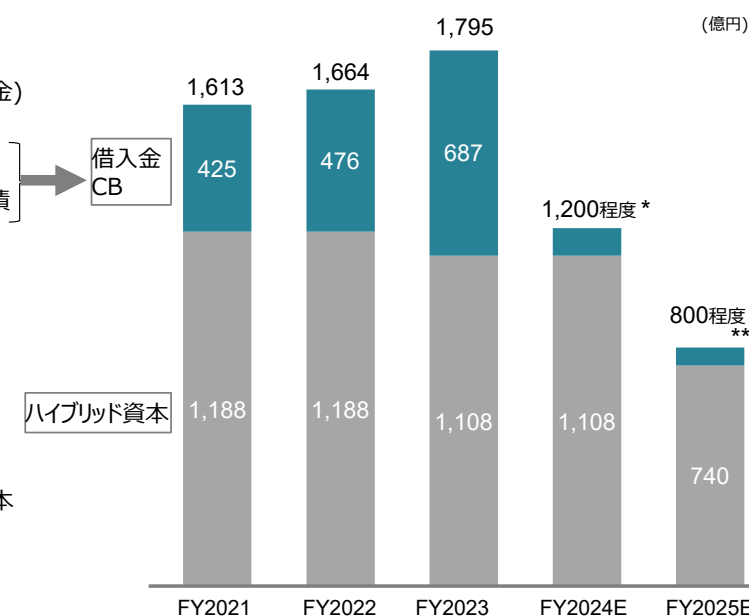
資産の部



負債・資本の部



純有利子負債削減計画



期末日レート (EUR / JPY)

141.4

157.1

株主資本比率 36.1%

35.0%

純有利子負債 476億円

687億円

12月末 Net D/Eレシオ 0.26 低位維持（2022年12月末 0.19）

* CB転換（2024年7月）

** ハイブリッド資本370億円
任意償還（2025年7月）

1.2023年度(2023年1-12月)決算概要

2.2024年度業績予想

3.事業環境

4.「中期経営計画2025」初年度の成果

5. グローバル・マーケティング（オープンハウス フロンテン、Japan Tour）

2024年度(1-12月)業績予想

DMG MORI

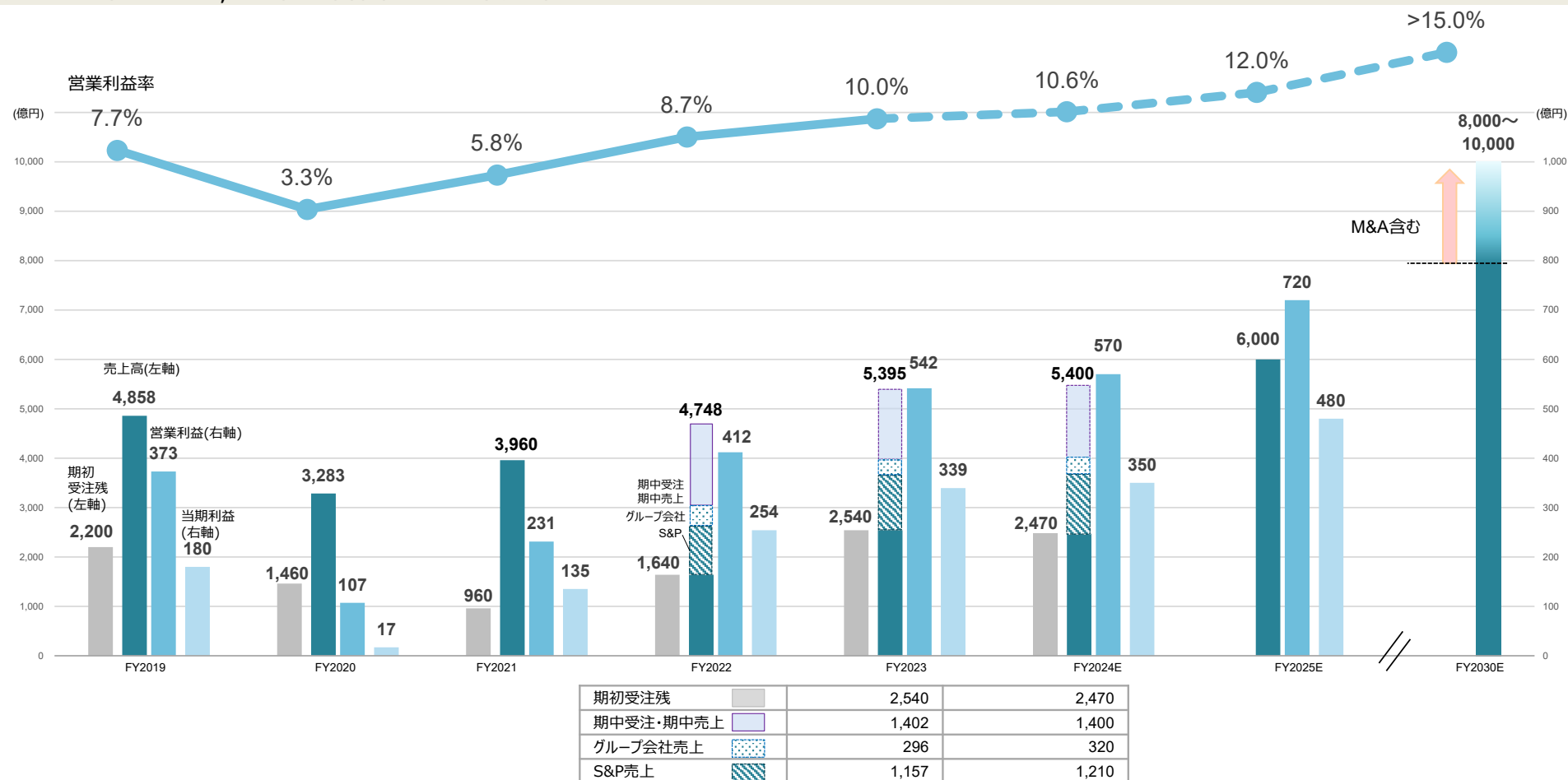
- ✓ 連続で、売上・利益ピーク更新見込み
- ✓ 豊富な期初受注残高2,470億円。MXによる値引率の低減、高収益のサービス・補修部品部門が利益率の改善に寄与
- ✓ 通期連結受注は、前年同水準の5,200億円計画
- ✓ 年間配当計画100円/株（中間50円、期末50円）と連続増配予定。中期経営計画の株主還元を1年前倒し

(億円)	2022年		2023年		2024年		2025年 中計最終年度目標
	実績	YoY (%)	実績	YoY (%)	計画	YoY (%)	
連結受注	5,424	+18.9%	5,200	-4.1%	5,200	0%	—
機械受注残高	2,540		2,470		—		—
売上収益	4,748	+19.9%	5,395	+13.6%	5,400	+0.1%	6,000
営業利益	412	+78.7%	542	+31.4%	570	+5.3%	720
営業利益率	8.7%		10.0%		10.6%		12.0%
当期利益	254	+88.7%	339	+33.6%	350	+3.1%	480
当期利益率	5.4%		6.3%		6.5%		8.0%
1株当たり当期利益 (円)	188.62		256.66		265.59		
配当金 (円/株)	70		90(予定)		100 (中間 50円 期末 50円)		100
償却費(リース含む)	240		265		300		—
投資額	411		425		300		3カ年累計1,000
USD/JPY	131.5		140.6		140		140
EUR/JPY	138.1		152.0		150		150

2024年12月期 売上構成計画

DMG MORI

- ・ サービス・補修部品部門、グループ会社が持続的成長に寄与
- ・ 期中受注・期中売上は1,400億円計画。2023年度と同額



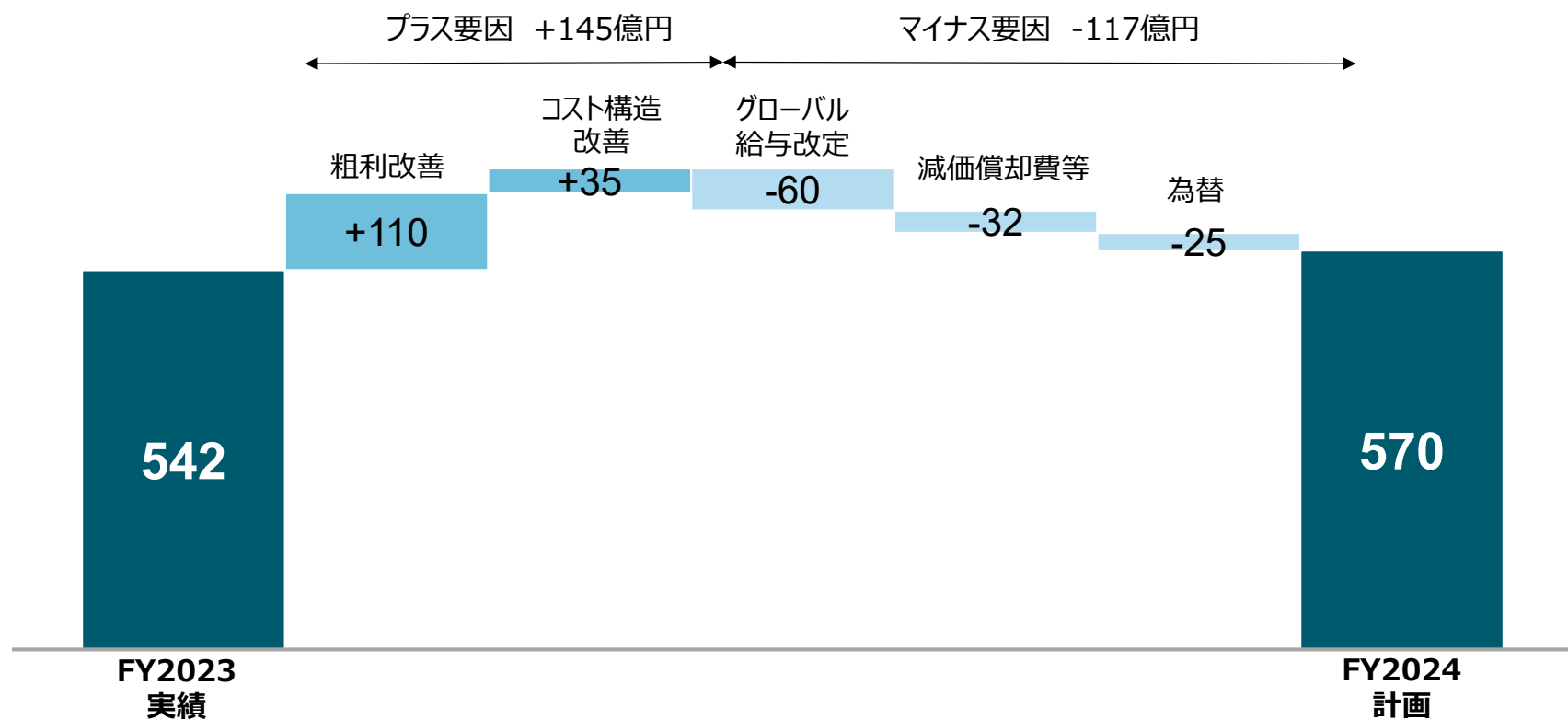
営業利益増減分析 2023年度 vs. 2024年度計画

DMG MORI

- ・ 高付加価値ソリューション提供による粗利改善が引き続き増益に寄与
- ・ グローバルインフレーションに見合った給与の改定を継続

(億円)	FY2023	FY2024E	増減
売上収益	5,395	5,400	+5

	FY2023	FY2024
想定為替レート :USD/円	140.6	140
EUR/円	152.0	150



1.2023年度(2023年1-12月)決算概要

2.2024年度業績予想

3.事業環境

4.「中期経営計画2025」初年度の成果

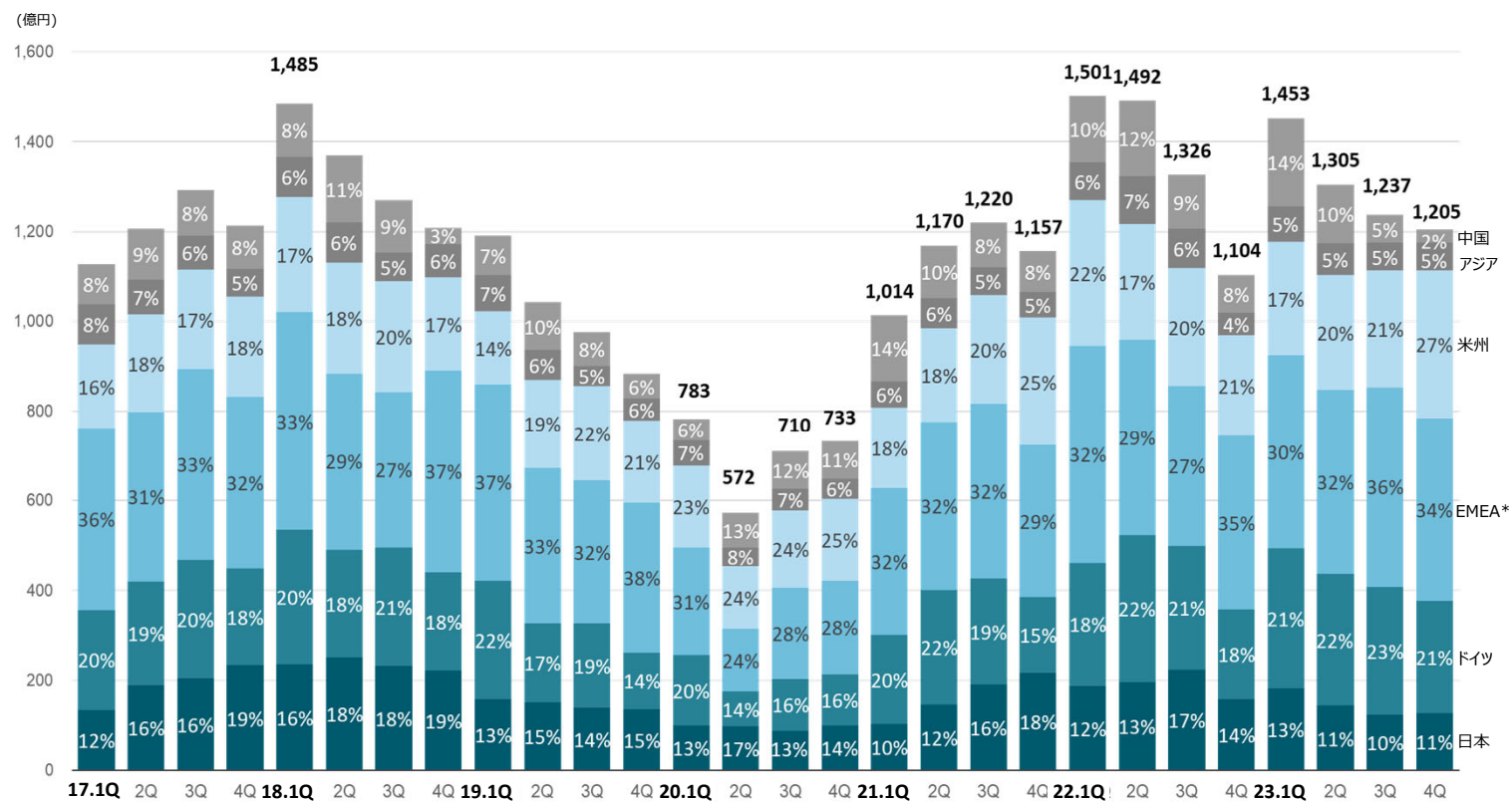
5. グローバル・マーケティング（オープンハウス フロンテン、Japan Tour）

連結受注推移

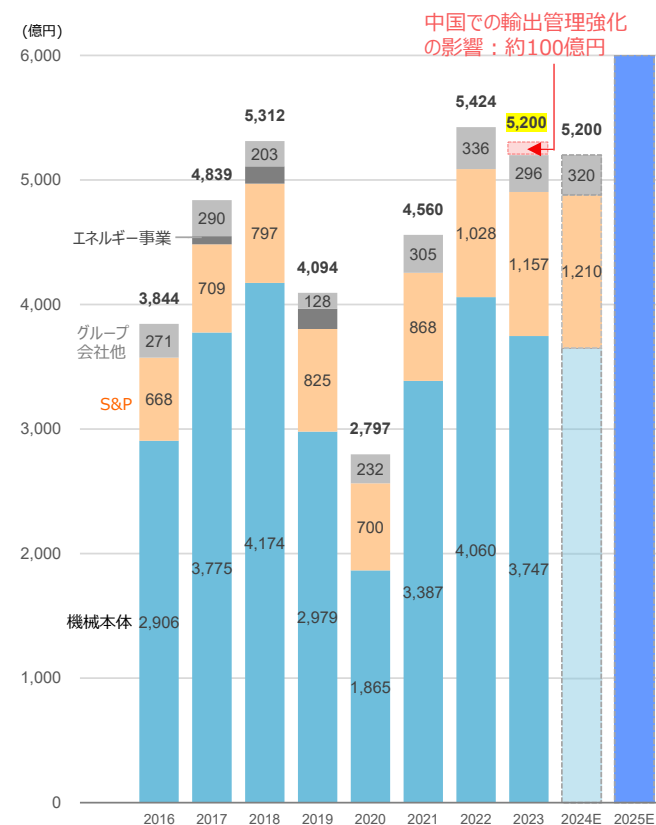
DMG MORI

- 第3、第4四半期で受注はほぼ底打ち。第4四半期の受注は、前年同期比9%増
- 第4四半期はEMEAが引き続き堅調に推移。加えて、米国での大型のプロジェクトが本格的に始動

四半期



年度

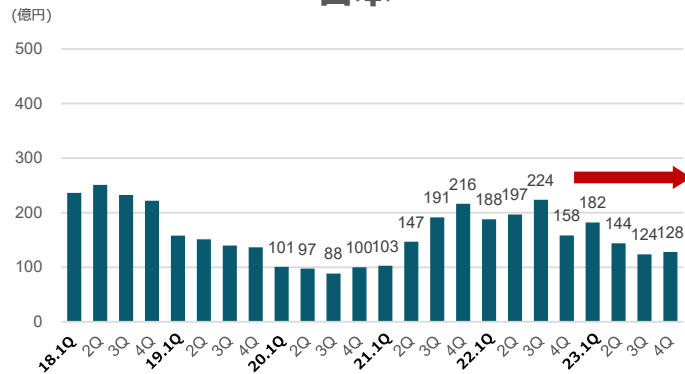


地域別受注推移

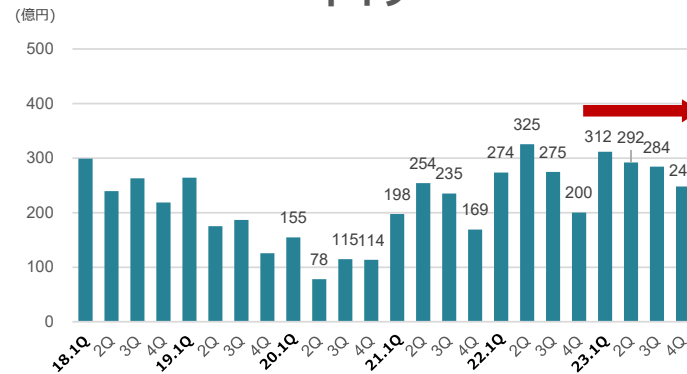
DMG MORI

- EMEAは堅調に推移。米国は、宇宙、航空、建機などの大型プロジェクトが寄与
- 日本、アジアは横ばい圏。中国はほぼ底打ち。

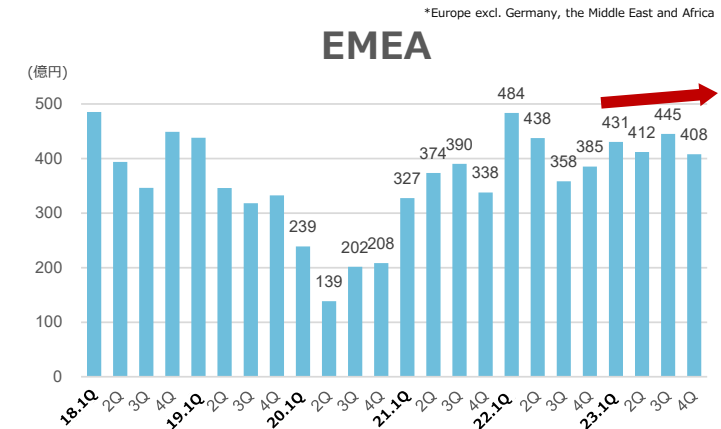
日本



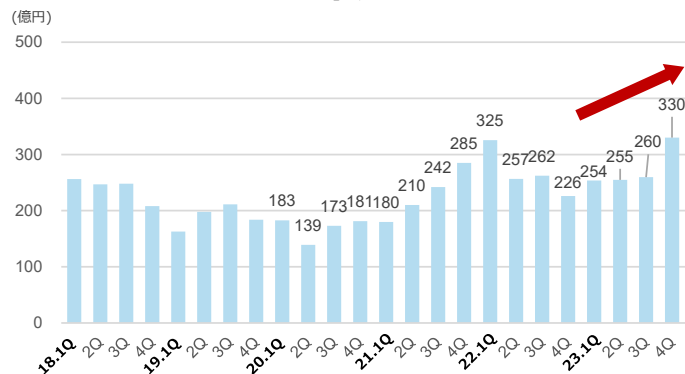
ドイツ



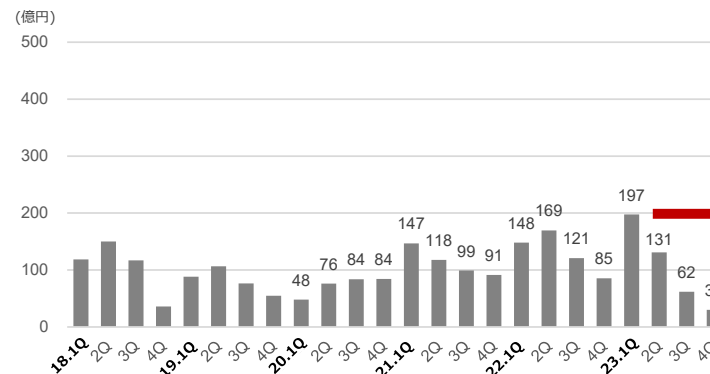
EMEA



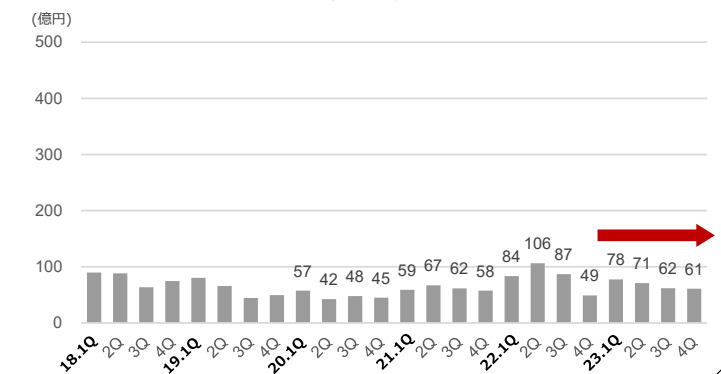
米州



中国



アジア



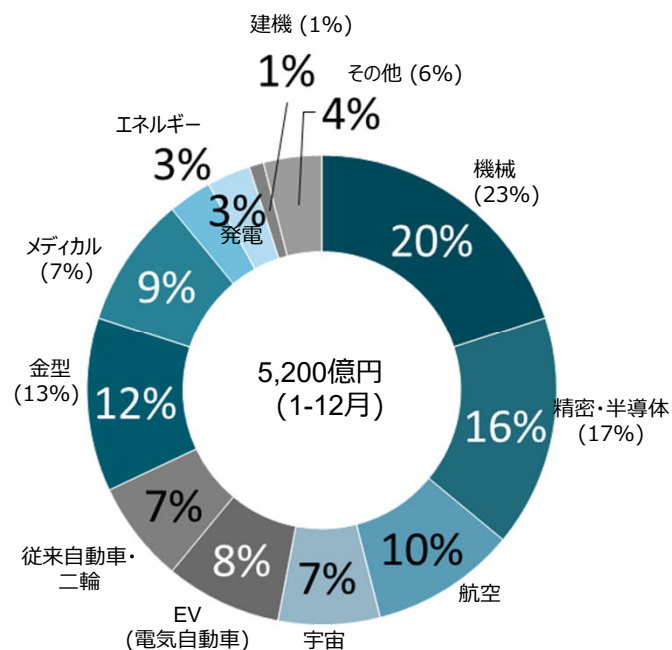
連結受注構成 (1-12月)

DMG MORI

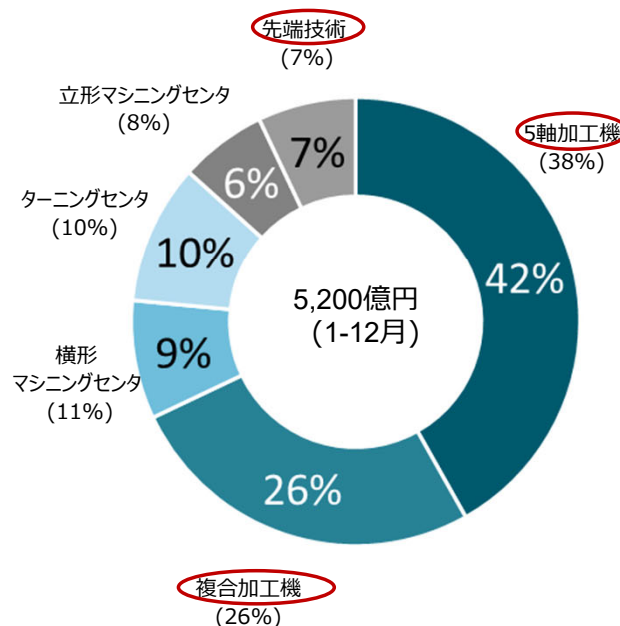
- ・ 航空、宇宙、メディカルが大幅増。半導体製造装置関連も堅調。5軸加工機、複合加工機、先端技術の3分野が75%(前年度：71%)と牽引
- ・ 大手・中堅ユーザーの設備投資は継続。欧州、米国の小規模ユーザーはMX導入を検討中

※金額ベース
※カッコ内：2022年1-12月

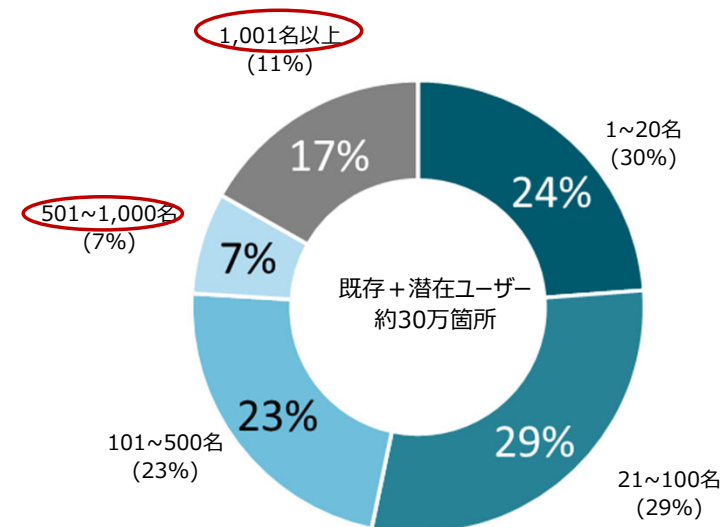
業種別



機種別



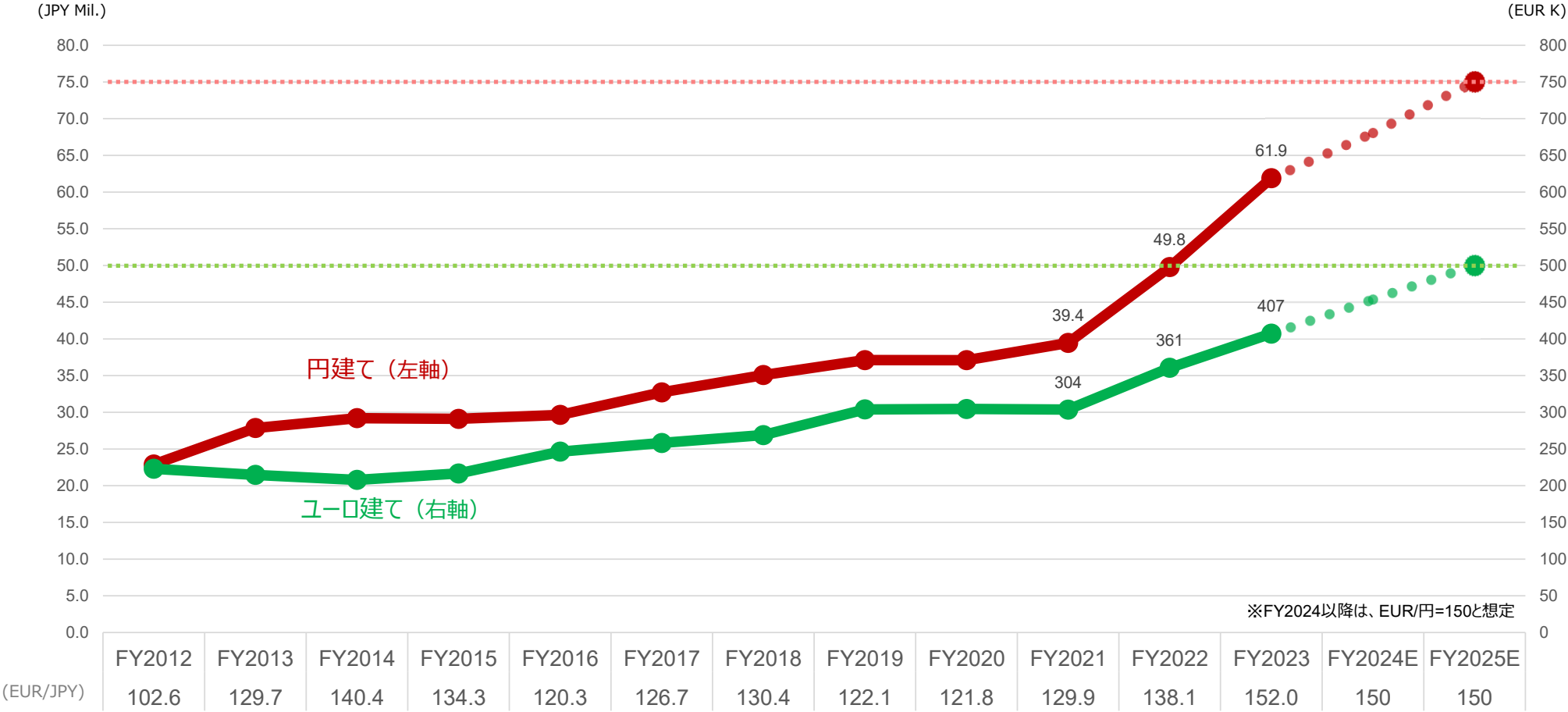
規模別



1台あたりの機械受注単価推移



- 2023年度の受注単価は 61.9百万円へ大きく伸長 (2022年実績：49.8百万円)。欧州通貨換算ベースでも、前年度比13%増
- 工程集約、自動化、DX、GX導入は比率向上。中期的に機械の受注平均単価は75百万円(50万EUR)へ上昇する見込み



1.2023年度(2023年1-12月)決算概要

2.2024年度業績予想

3.事業環境

4.「中期経営計画2025」初年度の成果

5. グローバル・マーケティング（オープンハウス フロンテン、Japan Tour）

「中期経営計画2025」初年度の成果

DMG MORI

✓ 財務目標

	2023年度		進捗 評価	2025年度 目標
(億円)	期初計画	実績		
売上収益	5,000	5,395	○	6,000
営業利益	500	542	○	720
営業利益率	10%	10.0%	○	12%
当期利益	320	339	○	480
当期利益率	6.4%	6.3%	○	8%
ROE		13.2%	○	>12.0%
純有利子負債 (ハイブリッド資本含む)	1,500	1,795	×	800
(進捗率)				
設備投資額	350	425	43%	3カ年累計 1,000
研究開発 投資額		282	28%	3カ年累計 1,000

✓ 人的資本

※カッコ内2022年度

- + 給与(日本) 平均892万円 (835万円)
- + 総労働時間(日本) 平均2,035時間 (2,006時間)
- + 有給休暇(日本) 平均17.9日取得 (18.5日)
- + サービス・エンジニア 2,000名 (1,900名)
- + アプリケーション・エンジニア 1,000名 (1,000名)

✓ 環境

- + Scope 1及びScope 2のCO2排出換算量を計画通り削減
- + Scope 3の目標を引き上げ予定

✓ 社会関係

- + サプライヤーエンゲージメントを強化
- + キーコンポーネンツの内製強化
- + 産業全体の人材育成
- + 工場周辺地域の活性化

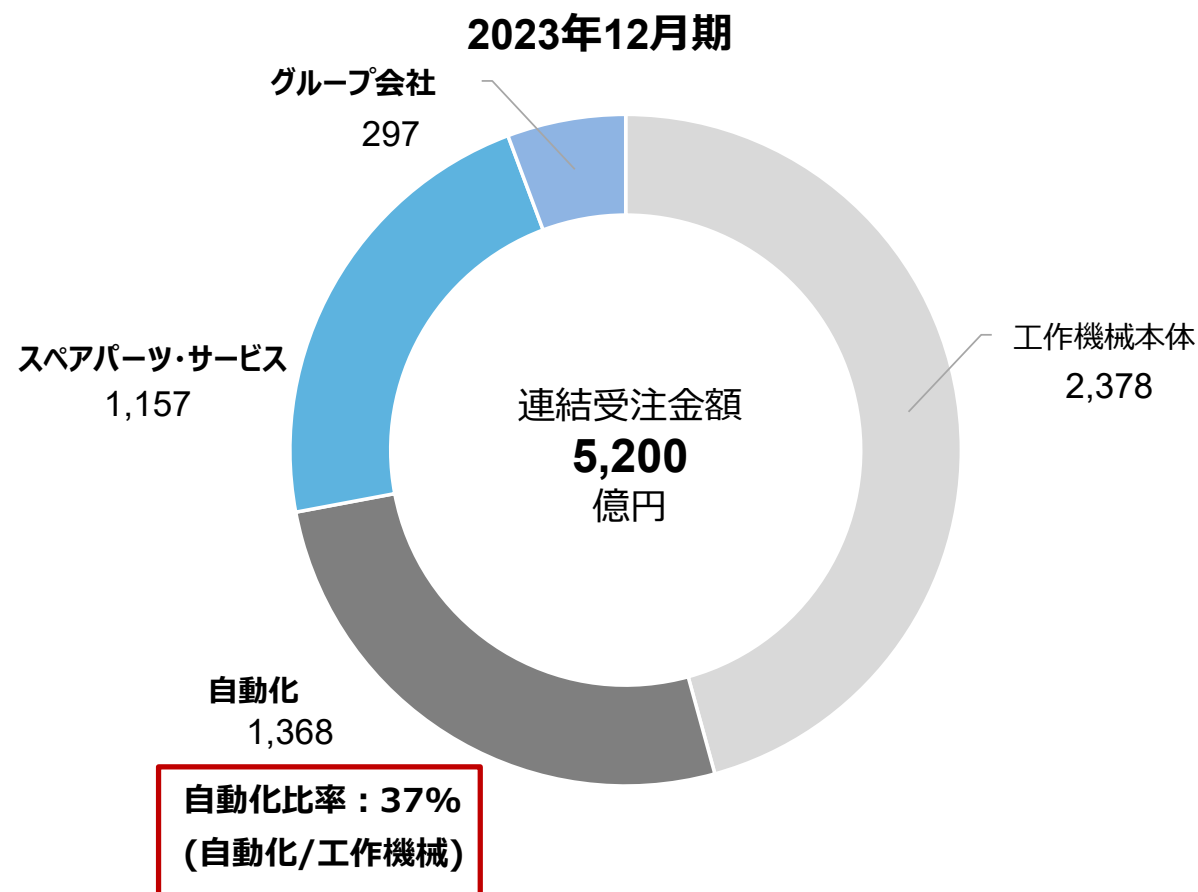
✓ ガバナンス

- + 独AGのガイスラー氏を新任取締役候補に： 経営層の多様化
(社外比率42%、女性比率25%、外国籍比率25%)
- + 執行役員のグローバル化(外国籍比率44%)

「中期経営計画2025」初年度の成果①：自動化の進捗

DMG MORI

- 工作機械受注に占める自動化案件比率は37%。受注単価上昇に寄与
- 「中期経営計画2025」最終年度に自動化比率50%目標



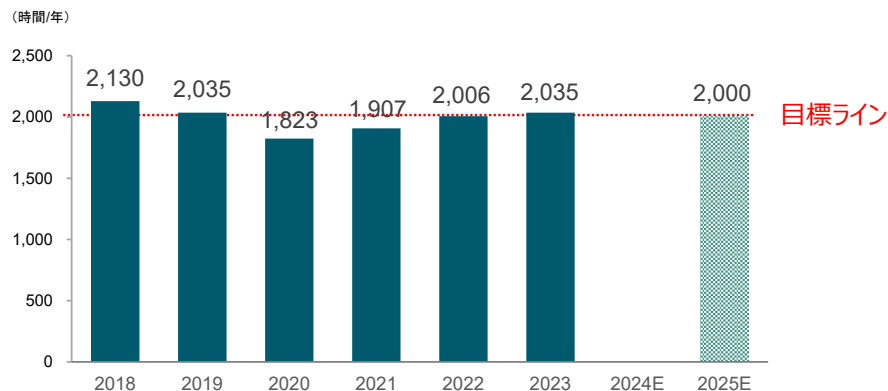
「中期経営計画2025」最終年度

**自動化比率
50%**

「中期経営計画2025」初年度の成果②：人的資本関連

DMG MORI

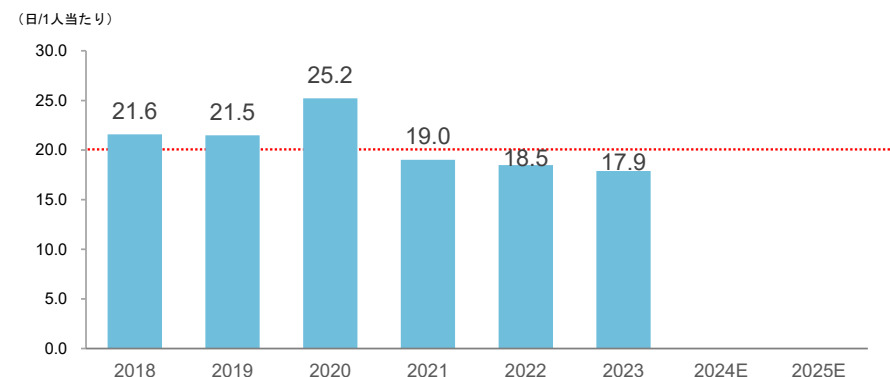
✓ 日本：1人当たり平均総労働時間*1



*1 日本単体の社員（正社員・契約社員）が集計対象

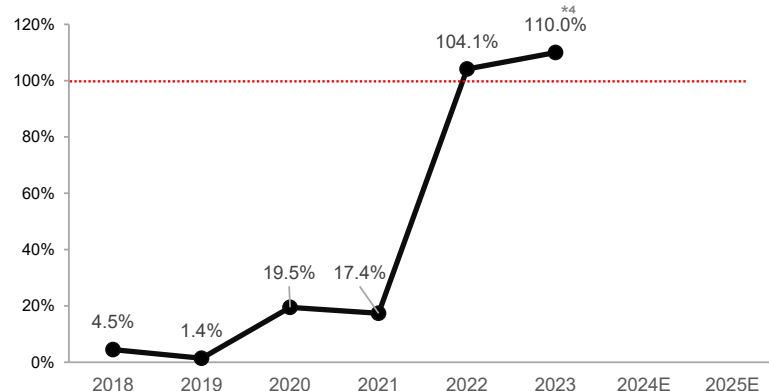
✓ 日本：1人当たり年平均有給休暇取得日数*2

対象：
DMG森精機単体従業員



*2 日本単体の社員（正社員・契約社員）が集計対象
有給休暇取得日数は20日付与換算

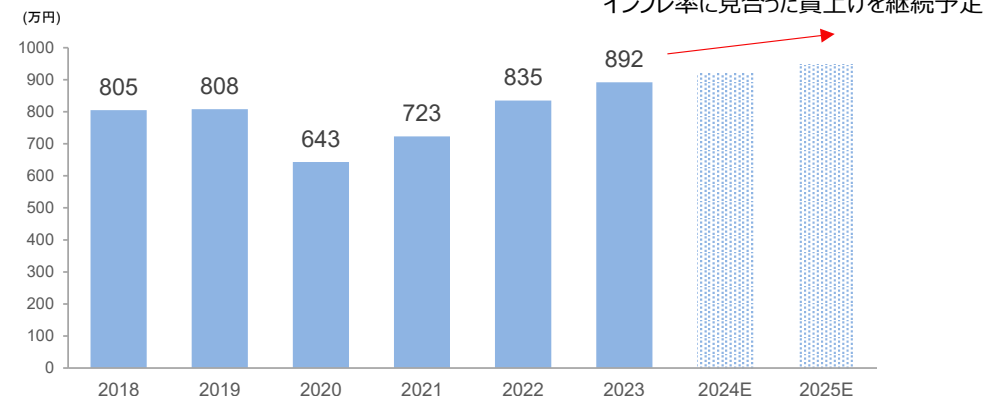
✓ 日本：男性社員 育児休業取得率*3



算出基準：年度内に育休を開始した男性社員数 / 年度内に配偶者が出産した者の人数

*3 日本単体の社員（正社員・契約社員）が集計対象、*4 2023年度：暫定値

✓ 日本：平均年収*5



*5 基本給・資格給・役職給・賞与・子女手当・住宅手当・時間外労働手当含む
寮・社宅・食事手当・通勤手当・持株会奨励金・保育費補助・帰省旅費・人間ドック補助・その他福利厚生に関わる支給は除く

「中期経営計画2025」初年度の成果③：温暖化ガス排出量削減目標の進捗

DMG MORI

2030年のScope3の目標を引上：サーキュラーエコノミー強化、サプライヤーとの協働

SBT認定取得目標
(2023年12月末時点)

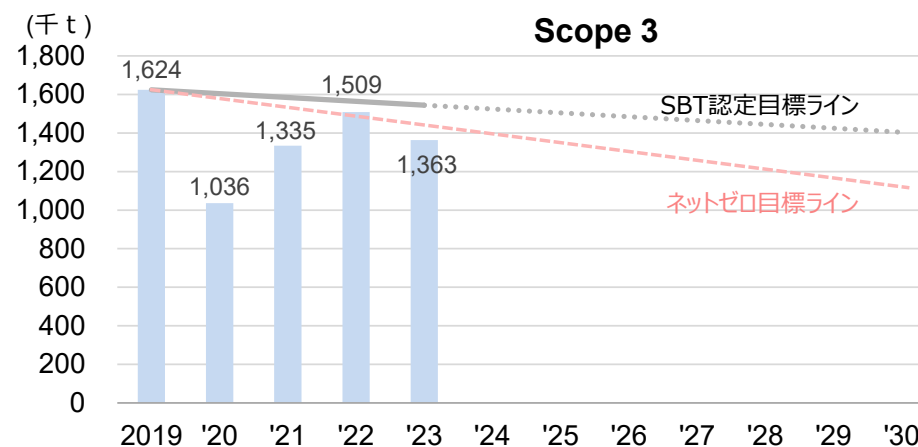
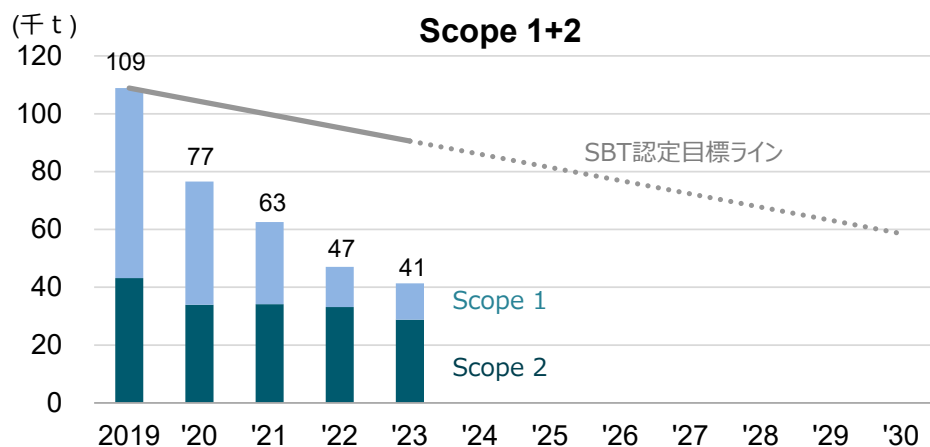


目標年	2030年
Scope 1及びScope 2	▲46.2%
Scope 3	▲13.5%

新目標 = ネットゼロ目標
(2023年12月末時点 SBT申請中)

目標年	2030年	2050年
Scope 1及びScope 2	▲46.2%	▲90%
Scope 3	▲27.5%	(Scope 1、Scope 2及びScope 3の合計)

CO₂排出量推移 ※2023年は第三者による保証前の数値



「中期経営計画2025」初年度の成果④：内製強化

DMG MORI

ボールねじ、ボールナット加工

- ・ 研削を含む工程を複合加工機で集約した異種ワークの並行生産
- ・ 自走ロボット：WH-AMR 10による長時間無人稼働ライン

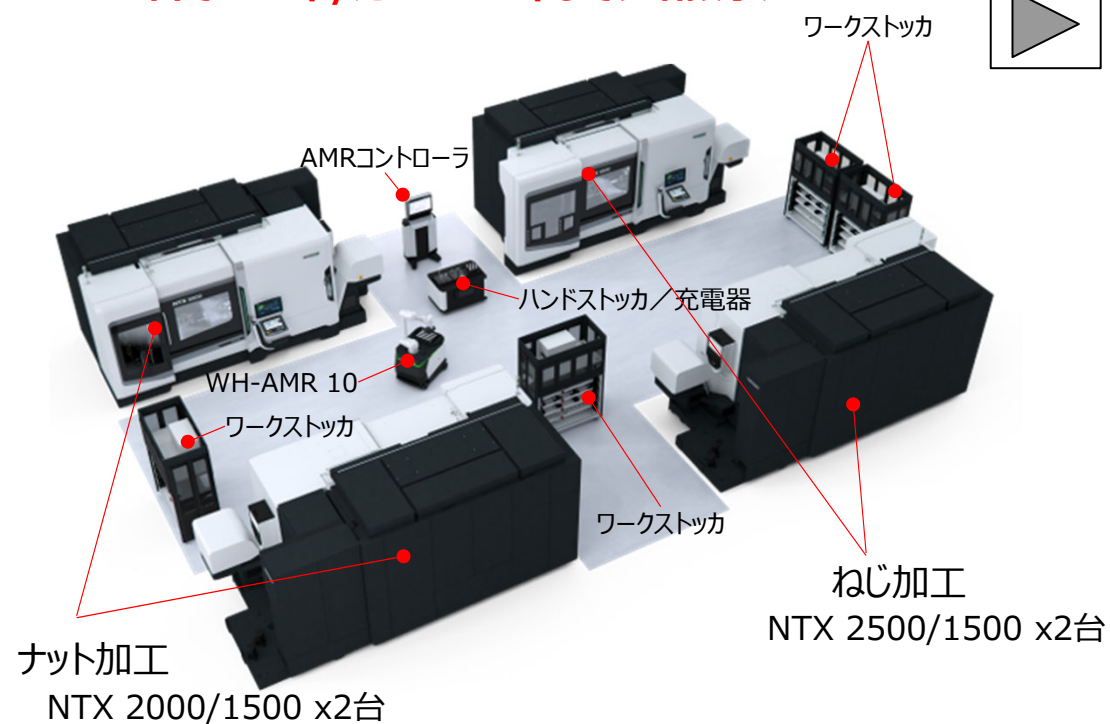
旧設備でのボールねじ生産

他社製の専用機19台で900本/月



新設備(当社機)でのボールねじ生産

4台で560本/月 2025年までに増設予定



「中期経営計画2025」初年度の成果⑤：人材育成

DMG MORI

✓ 人材育成

研究開発と人材育成支援



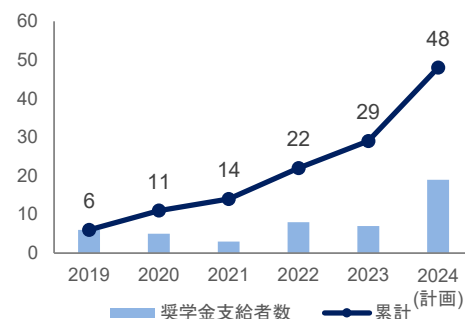
■ 森記念製造技術研究財団による奨学金支給対象者数

	2019	2020	2021	2022	2023	2024 計画
博士課程	工学系	6	5	3	8*1	2
	人文社会科学系				4	5
修士課程*2					1	6

※1 うち1名は2021年秋季入学者
※2 5年一貫性博士課程の1・2年生を含む

■ 2023年度 1人当たり奨学金支給金額(最大)

修士課程	博士課程	
	工学系	人文社会科学系
300万円	340万円	300万円



女性エンジニアの教育支援

- ・ 奈良女子大学と協力し、将来の優秀な技術者育成を目指す
- ・ 2023年6月から、奈良商品開発センタにて最新の工作機械を用いた実習開始



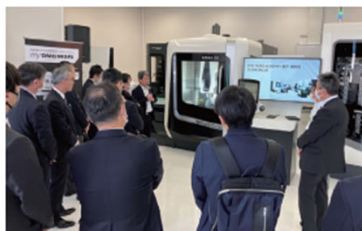
「中期経営計画2025」初年度の成果⑥：人材育成

DMG MORI

✓ オペレーター育成

お客様のオペレーター育成支援

2023年度 国内各地にDMG MORI ACADEMYを開設



NEW 金沢 (2023年5月)



NEW 仙台 (2023年9月)



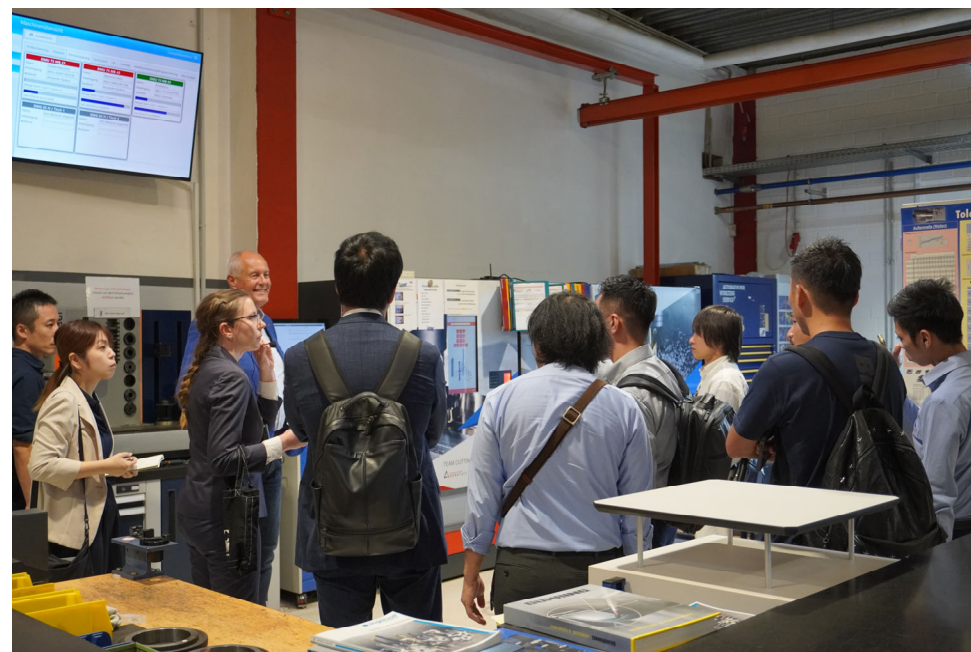
NEW 浜松 (2023年4月)

5軸加工機・自動化ソリューションの普及

5軸加工研究会

5X 5軸加工研究会
5AXIS MACHINING
ASSOCIATION

- 当社の5軸加工機を導入したお客様のビジネス拡大と技術向上を目的に活動
- 2023年はドイツの当社機ユーザーを訪問する視察ツアー開始



「中期経営計画2025」初年度の成果⑦：社会課題への貢献

DMG MORI

✓ 環境保護

自家消費型太陽光発電システム

2023年2月より伊賀事業所で発電開始（第1期工事分）



伊賀事業所

年間電力総需要の**約3割**を自給する計画

設置面積 約**130,000**m²（全工事完了時の計画）

パネル容量 約**13.4**MW

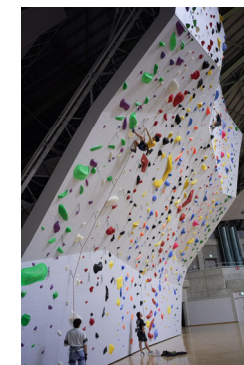
CO₂排出削減量 約**5,300**トン/年

✓ 地域活性

健康づくり・スポーツ振興、地域の皆様の交流拠点

2023年9月「DMG MORI アリーナ」開所
三重県所有「ゆめドームうえの」を取得後、改修工事

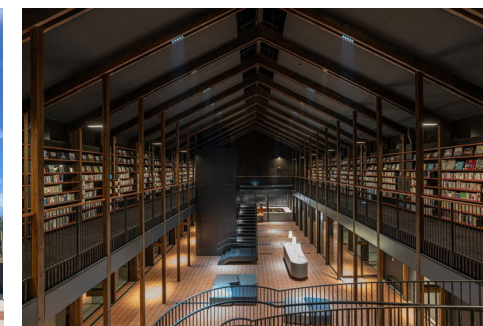
月間来訪者数：約 3,000名



地域社会貢献活動

2023年11月 複合施設「SHINDO YARDS」開設
三重県伊賀市 伊賀事業所最寄り駅 JR新堂駅前

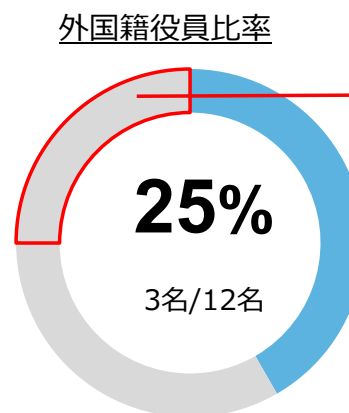
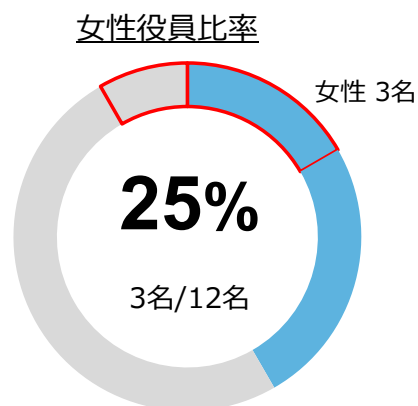
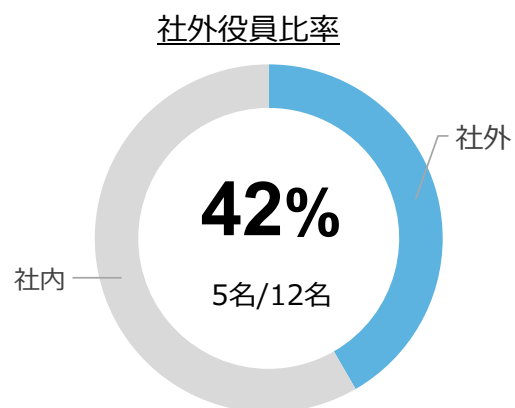
月間来訪者数：約 10,000名



ガバナンス：経営陣の多様性を担保し、グループ全体での一体経営を強化

DMG MORI

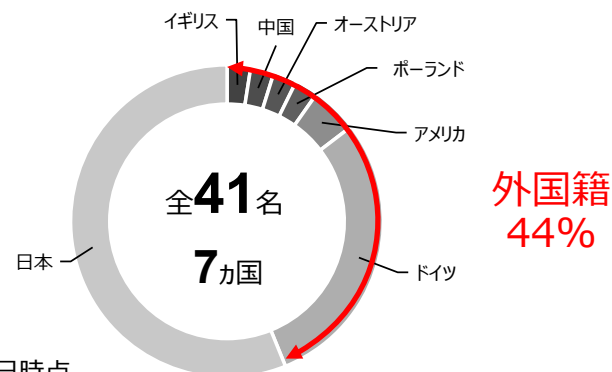
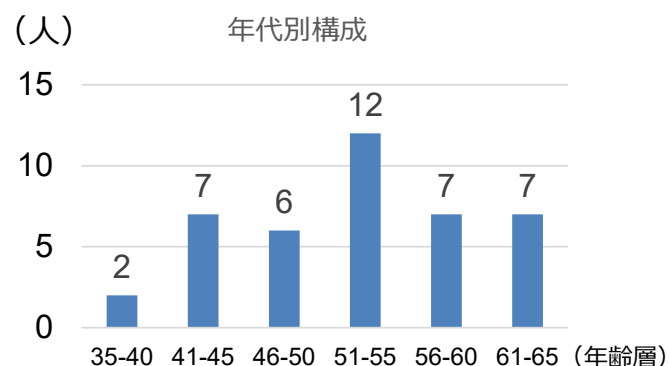
✓ 取締役会のダイバーシティ：AG社管掌の外国籍の取締役を新任予定（2024年3月28日開催の株主総会での承認を経て確定）



新任候補者：Alfred Geißler
(アルフレッド・ガイスラー)
DMG MORI AG管掌



✓ 執行役員会の強化：海外グループ会社の責任者を積極的に登用。グループ全体での一体経営を強化

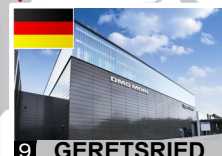


欧州統括会社（DMG MORI EUROPE）の本社をミュンヘンに新設

DMG MORI



DMG MORI EUROPE本社
ミュンヘン
2026年4月完成予定



倉敷機械株式会社のグループ化完了

DMG MORI

✓ DMG MORI Precision Boring株式会社 (2024年4月1日付社名変更)として、DMG MORIグループで新たな成長ステージへ

■ 譲受け概要

株式譲渡日 : 2024年1月5日
譲渡価額 : 40億円

■ 倉敷機械株式会社概要

所在地	新潟県長岡市	
主要製品	CNC横中ぐりフライス盤 (国内市場シェア 約40%)	
主な顧客産業	自動車、船舶関連、新エネルギー、 航空・宇宙ほか	
従業員数	295人 (連結/2023年3月20日時点)	
直近業績	2023/3期(実績)	2024/1-12期(計画)
売上収益	約60億円	69億円
営業利益	約2億円	4億円
営業利益率	約3%	約6%



1.2023年度(2023年1-12月)決算概要

2.2024年度業績予想

3.事業環境

4.「中期経営計画2025」初年度の成果

5. グローバル・マーケティング（オープンハウス フロンテン、Japan Tour）

22.01. - 02.02.2024

DMG MORI
OPEN HOUSE 2024
PFRONTEN

THE HOME
OF INNOVATION
IN PFRONTEN

MX
MACHINING
TRANSFORMATION

CELOS X

HEIDENHAIN
SIEMENS
MAPPS

DMG MORI
DMG MORI
DMG MORI
DMG MORI

DMG MORI
XXL Center

DMG MORI
DMU 75
PH 500

▶

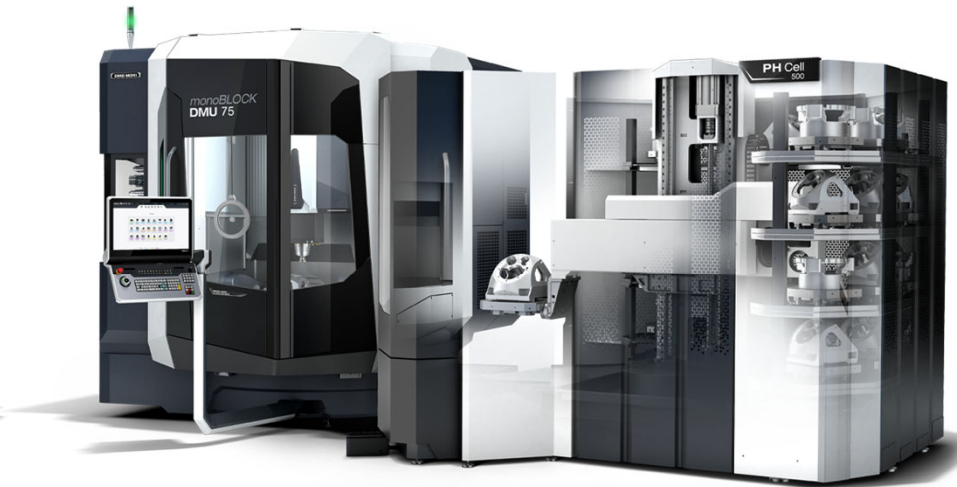
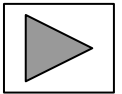
The banner features a large, modern glass building with 'DMG MORI' and 'XXL Center' signage, set against a backdrop of snow-capped mountains. In the foreground, several DMG MORI machine tools are displayed, including a large lathe and a smaller machine. To the left, there are icons for various technologies: a laptop with 'HEIDENHAIN' and 'SIEMENS' logos, a tablet with 'MAPPS', and a folder icon with 'CELOS X'. A large 'MX MACHINING TRANSFORMATION' logo is also present, along with a 'CELOS X' logo at the bottom. A play button icon is in the top right corner.



トラベリングコラム同時5軸加工機
DMF 400|11



自動化システム
PH Cell 500

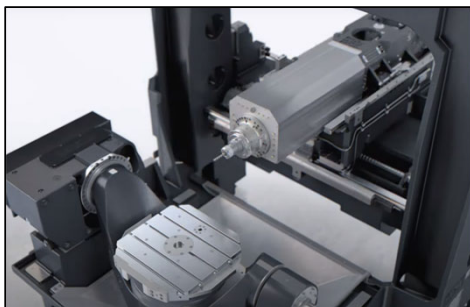


DMU 65 mB with PH Cell 500

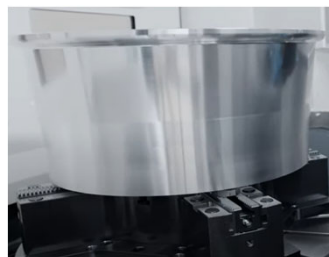
10 μ mから5 μ mへ / ターンキープロジェクト

DMG MORI

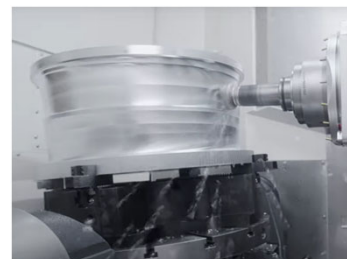
**DMC 65 H
monoBLOCK FD
5 軸加工機**



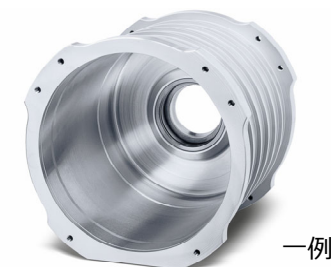
クランプ



加工



完成品



一例

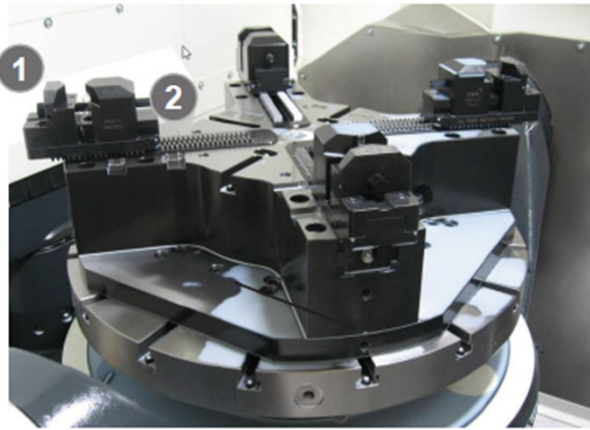
お客様のご要望（一例）

- ✓ 傷の無い表面
- ✓ 振動の抑制
- ✓ ワークの自動芯出し
- ✓ 加工時間の短縮
- ✓ 真円度・同心度の向上

当社からのターンキー提案（一例）

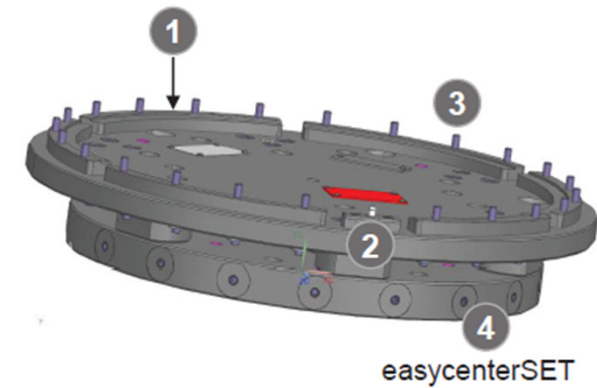
- ✓ びびりなく加工可能なツーリングによる最適な表面加工と振動抑制の実現
- ✓ easycenterSETによる自動芯出し
- ✓ 30%の加工時間短縮
- ✓ 真円度 < 40 μ m
- ✓ 同心度 < 50 μ m

4つ爪チャック（HWR社製）



- ① チャックによる外径からの芯出しとわずかなクランプ
- ② 内爪による内径クランプ

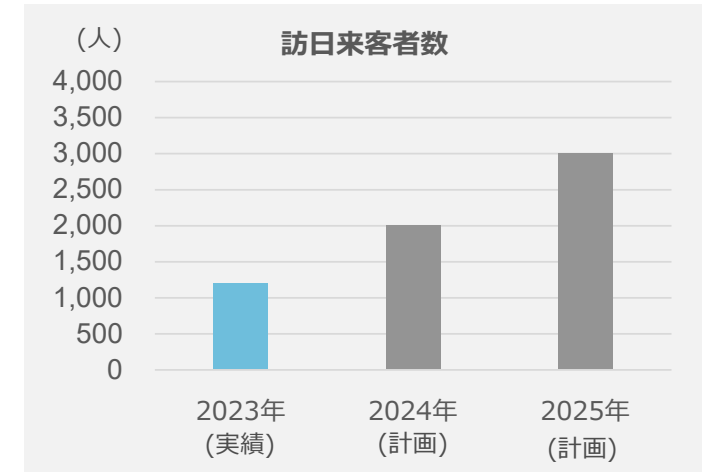
治具（DMG MORI PFRONTEN）



- ① クランプベース
- ② ワーク位置調整用の芯出しボルト
- ③ クランプネジ：ワークの脱落防止構造 & 事前芯出し用
- ④ easycenterSETとタッチプローブでラジアル振れの自動調整

マーケティング：JAPAN TOUR 継続開催

DMG MORI



当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。
今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。
なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ▶当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- ▶為替相場の変動
- ▶当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- ▶タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- ▶当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- ▶独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更
- ▶COVID－19に関する日本国及び諸外国の渡航又は自宅待機規制の動向